

# 笑顔あふれるPTA活動へ

南薩養護学校 PTA会長 深田 恵美

## PTA活動

本校PTAには、総務部・文化部・事業部・研修部の四つの部があります。

文化部では年2回新聞を発行し、紙面いっばいに運動会などの子どもたちの様子を載せています。

事業部では奉仕作業のほか、バザーを行い収益金をPTA活動費として役立たせています。卒業生からの制服や体操服などの提供もあり、毎年多

数の保護者が楽しみにしている行事です。

研修部では様々な講演会を開いています。今年度は健康体操を行い、大勢参加し心も体もリフレッシュできました。また、年2回の研修視察も行っています。保護者の要望を取り入れ地区内はもとより鹿児島市内の施設へ視察に行っています。そ

ここで、卒業生のそれぞれの特性にあつた進路先での様子を視察させていただき、わが子の進路の参考になっています。専門部とは違いますが



PTA バザー

本校は今年度創立39年目で、周囲には田畑が広がる自然豊かな南さつま市金峰町にある特別支援学校です。小学部から高等部まで94人の児童生徒が在籍し、それぞれの特性に応じた指導を先生方と保護者が連携して行うことで、毎日笑顔あふれる学校生活を送っています。



卒業生の進路先での視察研修

地区PTA活動もあり、子育てや進路の悩みも懇親会などで語り合っています。

## 今後のPTA活動

研修部の活動に力を入れ、これまでの学校主体の施設との情報交換会をPTAも協力して行うことにしました。このことで、保護者同士も情報を共有し、よりよいPTA活動、また子どもたちの将来につながればよいな

と思っています。

来年度は節目となる40周年を迎えます。小学部から高等部まで一貫した指導と地域の皆様との温かいつながりを大切に、明るく元気なPTA活動でさらに笑顔あふれる学校になれば、と思います。

全ては子どもの笑顔と将来のために…

将来のために…



## 両校の良さを活かしたインクルーシブ教育

鹿児島東高等学校

鹿児島高等特別支援学校とのインクルーシブ教育について、取組を紹介いたします。

両校の生徒は、交流学習として友好を目的とした1・2年生のスポーツ交歓会や、「総合的な学習の時間」の中で、両校の開設したコース(食農OA、地域歴史、接客ハウスクリーン等)を選択して学習しており、それぞれの校舎に足を踏み入れる良い機会となっています。学校行事の中でも合同遠行(写真)では力を振り絞ってゴールした生徒に互いにねぎらいの声を掛け合う姿も見られます。

両校にある部活動は可能な限り一緒に活動しており、団体競技は両校で人数が確保できない場合は、連合チームを組んで参加しています。

体育祭の企画・応援団練習、文化祭の企画は両校生徒会を中心に役割分担を決め運営しています。

昨年度から18歳選挙権が始まり、大学生から高校生までを対象にした鹿児島市選挙の選挙コンシエルジュにも両校の代表生徒が選ばれ、お互い協力しながら活動をしています。

PTA活動では共同開催の学校行事(体育祭や文化祭のバザー、遠行の助勢など)に係分担任を決めて協力をしていただいております。

また、研究授業等の相互参観を行っており、両校生徒の学習内容の把握

もできています。

共同学習・部活動での両校教員による指導は、普通科高校と特別支援学校の生徒の自然な形で相互理解を促し、また、生徒同士においても一番密接な関係を作り出すことができる重要な時間となっています。

同じ敷地内での活動は、体育館やグラウンドを共同で使用するのに時間調整など大変なこともありますが、定期的に両校連絡会を実施し問題を検討するなどし、これが逆に良い成果につながっているように感じられます。

校長 吉元鈴代



合同行事の一つの「寺山遠行」